

会報

第 112 号

1996年11月1日 発行

京都マイコン研究会

発行人 圓口佳昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内20
TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
nomasuda@mbox.kyoto-inet.or.jp

ニュースorピックアップ

「壁に耳あり障子に目あり、 そしてインターネットあり」

編集部 神賀

実は私、体の関係で妻や家族からきつく禁煙令を施かれています。しかし気分転換の一本は、なんといつても止められない、そこで世に言う「蛭族」なのです。そんなある日我が家でいつものように、増田さんからのメールを見ていると10月の例会の報告。その中にデジカメの写真があった、そして私が美味そうにタバコを一服吹かしている姿。うんうんよく写っているわいと・・・後ろにワイフが、画面を指差して「お父さんこれ何・・・」と恐い顔、えっえっと私慌ててモニターを両手で隠した時既に遅し・・・ハイ。いやいやしかし、これがもし浮気の現場写真だったら、みなさんただではすみませんぞ。

げに恐ろしき、情報化社会とは。

かみがしげよし 懺悔録

例会報告

10月5日 (pm. 6 : 30) 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 岩井、中辻、若井、神賀
増田、吉川、

6名

- 内容
- 1) 会の運営と部会活動
 - 2) 部会の進行方法と部会参加氏名。
 - 3) 編集部会開催

決回例会

日時 11月2日(土) (pm.6:00)

場所 大山崎ふるさとセンター
18:30 会の運営と部会活動
19:00 編集部・部会開催
21:30 終了

インターネット部会 LAN部会

11月10日開催予定

ところ 事務局(八幡市)



第27回

パーソナルコンピュータ 利用技術認定試験

日時：平成8年12月1日

会場：京都社会福祉会館

パーソナルコンピュータ利用技術認定試験に
ともなう役員会開催



部長 若井征夫

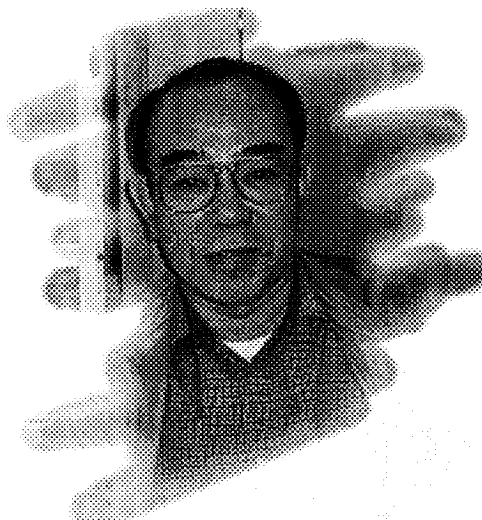
●イメージで見る部会風景。(1)



○開催あいさつ。進行内容と解説。



○圓口佳昭 氏 (会長)



○岩井宏安 氏 (副会長)



○中辻 実 氏 (会計)

Tomoppy の雑記帳
 (15回) Tomoppy

差出人： Nikkei Multimedia
 送信日時： 1996年10月1日 5:59
 宛先： nmm@ijinet.or.jp
 件名： [nmm 266] NMM News Update 960930_01

 MESSAGE from nmm@nikkeibp.co.jp [09/30/96 20:59:05]
 日経マルチメディアの読者向けニュース配信サービスです。
 ●ご意見ご要望などございましたら、nmm@nikkeibp.co.jp
 (日経マルチメディア編集部)までご一報ください。
 Nikkei Business Publications, Inc. (Tokyo Japan)
 [WWW homepage URL] http://www.nikkeibp.co.jp/NMM/

 96.09.30

- インターネット家電の普及促進へ
- 関連企業 30社集めて協会発足

インターネット・テレビや携帯情報通信端末 (PDA) といった“インターネット家電”の普及を目指す「イージーインターネット協会」が、関連企業 30社を集めて9月30日に発足した。家電業界からは、松下電器産業、東芝、シャープ、カシオ計算機、ケンウッドなどが参加。コンテンツ・プロバイダとしては、リクルート、ロイター・ジャパン、第一興商、日光堂など。通信事業者では、NTT、NTT PC コミュニケーションズなどが名を連ねた。

狙いは、インターネット家電を開発・販売するメーカーと、それを端末にした家庭向けビジネスの展開を図るコンテンツ・プロバイダ、通信事業者などの連携を図って、インターネットの家庭向け市場全体を広げることである。世界の家電産業をリードする日本メーカーの強みを生かし、世界に先駆けてインターネット家電のハード/コンテンツの仕様を固めるという狙いもある。

具体的には、テレビやPDAで見やすいコンテンツ制作上のガイドライン作りや、関連技術などに関する情報交換を行う。また、インターネット家電向けの潜在的な情報発信事業者となる全国各地のインターネット・プロバイダなどへの支援も手掛けていく。

ただ、当初参加すると目されたソニーや三菱電機などは設立時の参加を見送った。同協会では、引き続き参加企業を募り、10月末までに50社程度にしたい意向である。今後、3年間の期間限定で活動を行っていく。

なお、同協会の会長には武邑光弘・京都造形芸術大学メディア美術研究センター所長が就任。事務局長に仲望氏、企画室長に鹿野谷武文氏を据えた。設立時のこのほかの参加企業は、アクセス、アドバンス、伊藤忠商事、インキュベーション・サーカス、インターコム、エキスポライブラリー、エヌ・ティ・ティ・アド、NTTインテリジェントテクノロジー、兼松セミコンダクター、シー・ファイブ、大日本印刷、デジタルメディア研究所、日本サン・マイクロシステムズ、NEC、日本電算、富士通、プレジデント社、プロメディア、プロスパークリエイティ

ブーである。(渡辺 博則)

 End 960930_01

差出人： Nikkei Multimedia
 送信日時： 1996年10月1日 6:03
 宛先： nmm@ijinet.or.jp
 件名： [nmm 267] NMM News Update 960930_02

 MESSAGE from nmm@nikkeibp.co.jp [09/30/96 21:04:02]
 日経マルチメディアの読者向けニュース配信サービスです。
 ●ご意見ご要望などございましたら、nmm@nikkeibp.co.jp
 (日経マルチメディア編集部)までご一報ください。
 Nikkei Business Publications, Inc. (Tokyo Japan)
 [WWW homepage URL] http://www.nikkeibp.co.jp/NMM/

 96.09.30

- オリンパス、紙に音声情報を記録する技術を開発
- 97年春には語学教室などでの利用を目指す

オリンパス光学工業は、音声や画像などの情報をデジタル化して独自のコードに変換、紙に印刷する技術「ScanTalk」を開発した。音声、画像、文字、MIDI (Musical Instrument Digital Interface) データなど、デジタル化したデータを独自のコード「ScanTalkコード」に変換して紙に印刷。専用の読み取り機で再生できる。音の出る図鑑や、発音を確認できる語学教材、音楽の再生が可能な楽譜などの応用が可能だ。

ScanTalkコードは、最大1000個のドットが表示できる2.1ミリ×2.1ミリのブロックを複数並べて構成するコードだ。各ブロックのドットの構成で、符号化したデータを表示する。約10センチの長さのScanTalkコードの中に、約6Kバイトのデータ(約15秒の音声、256×256ドットのフルカラー画像、400字詰め原稿用紙で8枚分の文字)を記録できる。再生にはScanTalkコードの専用読み取り機「ScanTalkペン」を使用する。ScanTalkペンは読みとったデータを再現し、音声として再生できる。1万円前後で発売する予定だ。

97年春には、語学教室や音楽教室などを対象に、教材にScanTalkを応用。さらに、オリンパス光学工業は大日本印刷とインテックの3社で、データのエンコード・サービスを出社社などに向け展開していく。同社は「さらに新しい製品を加え、コア・ビジネスの1つとしていく」(オリンパス光学工業の岸本正壽社長)という方針だ。(安井 功)

 End 960930_02

差出人： Nikkei Multimedia
 送信日時： 1996年10月1日 6:56
 宛先： nmm@ijinet.or.jp
 件名： [nmm 269] NMM News Update 960930_04

 MESSAGE from nmm@nikkeibp.co.jp [09/30/96 21:56:23]
 日経マルチメディアの読者向けニュース配信サービスです。

●ご意見ご要望などございましたら、nmm@nikkeibp.co.jp
 (日経マルチメディア編集部)までご一報ください。
 Nikkei Business Publications, Inc. (Tokyo Japan)
 [WWW homepage URL] <http://www.nikkeibp.co.jp/NMM/>

 96.09.30

■DVD 関連展示目白押しのエレクトロニクスショー '96
 ■ソニー、ビクター、三菱、日立も DVD プレーヤを参考出品
 10月1日から幕張のコンベンション・センターで開催されるエレクトロニクスショー '96では、DVD 関連製品が多数出品される。DVD プレーヤは、すでに11月発売を発表している東芝、松下電器産業、パイオニア、三洋電機(東芝のOEM商品)ほか、ソニー、日本ビクター、三菱電機、日立製作所が参考商品を展示する。日立製作所は年内をめどに、ソニー、日本ビクター、三菱電機は来春の発売を予定している。ソニー、日本ビクター、日立製作所のDVD プレーヤは音楽CDやビデオCDの再生も可能だが、三菱電機はビデオCDの再生を省くことで、低価格化を目指す。

このほかパイオニアはDVD-VIDEO プレーヤを組み込んだミニ・コンポFX7MDを展示する。96年12月中旬の発売で、プレーヤ部分の価格は8万3000円。松下電器産業は、DVDのカー・ナビゲーション・システムの参考商品をマスタングのオープン・カーに搭載したデモを披露する。

一方DVD-ROMドライブは、パイオニア、松下電器産業(松下寿電子工業製)、日立製作所、三菱電機、東芝もOEM向けサンプル製品などを参考展示する。松下電器産業はWOODYにDVD-ROMドライブを内蔵したモデルを30万円程度の価格で発売する模様だ。年末から97年初頭にかけて、こうしたドライブを搭載したパソコンが続々登場してくることになりそうだ。
 (中田 靖)

 End 960930_04

差出人: Nikkei Multimedia
 送信日時: 1996年10月1日 9:29
 宛先: nmm@ijnet.or.jp
 件名: [nmm 270] NMM News Update 960930_05

 MESSAGE from nmm@nikkeibp.co.jp [09/30/96 22:44:45]
 日経マルチメディアの読者向けニュース配信サービスです。

●ご意見ご要望などございましたら、nmm@nikkeibp.co.jp
 (日経マルチメディア編集部)までご一報ください。
 Nikkei Business Publications, Inc. (Tokyo Japan)
 [WWW homepage URL] <http://www.nikkeibp.co.jp/NMM/>

96.09.30

■シャープ、MDに2000枚のVGA画像などを記録できる
 ■MD データ・デジタル・スチルカメラを開発

シャープは140MバイトのデータMDにVGA(640×480ドット)の静止画像を2000枚記録できるMDデータ・カメラMD-PS1を開発した。これまでデジタル・スチルカメラの記録媒体としては、内蔵フラッシュ・メモリーやICカード、切手型メモリー・カードに記録

する製品はあったが、MDに記録するデジタル・スチルカメラは初めて。

このカメラはJPEGの圧縮比率によって2つのモードを用意しており、高画質モードの場合は記録できる枚数は1000枚となる。また、音声入力も最大40分まで可能で、その際取り込める静止画像は標準モードで730枚、高画質モードで365枚となる。

2.5インチの液晶も搭載しており、撮影した画像をその場で確認できる。音を流しながら画像をめくっていくスライド・ショー機能も内蔵している。最小5秒、最大で24時間のインターバル・タイマー撮影も可能である。出力はパソコンの平行・インタフェースとNTSCビデオ出力、S端子出力を用意している。

このMDデータ・カメラは、データMDにデジタル画像の撮影、音声記録ができるほか、音楽MDの録音・再生も可能なため、通常のポータブルMD機としても使用できる。価格は10万円以下で、年内発売を予定している。(中田 靖)

 End 960930_05

差出人: 加藤 純一
 送信日時: 1996年10月11日 21:21
 宛先: tomoppy@tsutaya-net.or.jp
 件名: 文字化けテストです

*
 増田さんからの連絡は、何も読めません。タイトルは、河原さんと同じですので
 内容はわかりました。

*河原さんからののは、文字化けなしです。

* EUDORAの Ver. 2. 2-J です。

* 半角テスト: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

アイウエオカキクケコサシスセソ
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

* この下は、河原さんからのものです。

> 増田さんからの文字化けを生じている方は、全角文字や半角英数文字を混合して、
 > 自分宛てと河原・増田へ送って試みましょう。
 > 加藤さんの文字化けは、電話回線より、マシンのマルチ切り替えで文字化けを生じているように思われます。(加藤さんが使っているEUDORA Ver. ??、か
 > 、EUDORA PRO Ver. ??)
 >
 > 以上回答ですが、各位の使っているWINDOWSのバージョンとメールソフト名を一斉に各位へメール送信下さい。それによって、何が障害か調べましょう。

●イメージで見る部会風景。(2)



○神戸から中西秀行 氏



○神賀重善 氏



○増田則雄 氏



○休憩タイム



○秘話を語る神賀氏



○河原友三郎 氏



○若林 実 氏

●イメージで見る部会風景。(3)



○武田計子 さん



○吉川雅啓 氏



○中西洋一 氏



とき

1996年10月27日

ところ

京都マイコン研究会
事務局
(京都府八幡市)

参加者

- 圓口・若井・
- 加藤・中西秀・
- 若林・中西洋・
- 中辻・河原・
- 吉川・神賀・
- 武田・増田・
- 岩井

ごあいさつ

電子メールでの開催決定で、このようにたくさんの皆さんが参加していただけたことはインターネットに対する期待と部会への参加意欲を感じさせて戴きました。

今回のように一人一台のパソコンで講習する機会を今後とも続けたいと思います。

さて、今回の講習の成果を忘れないために、続いて11月10日に場所を同じく事務局にて予定。今回の成果持参での参加を期待し、お待ちしております。